

## 山のなまげき

、祖谷の山に囲まれ、生活の中に自然がある環境で生きていくこと、その変化には感動があったり、失望したりです。

ここ数年、山登りが多くなつて来ているようです。ガイドの機会も少なくなりましたが、ほとんどの登山を愛する皆さんは、仲間が皆さんとの山歩きや、独りで歩くこと、山を歩かんとするとあといま。

でも、この所、登山道のない所を歩く愛好家も多くなつてきているみたいです。

国立・国定公園内は登山道以外を歩くことは禁じられているのですが、個人土地は歩くことは、特別制限はされていません。

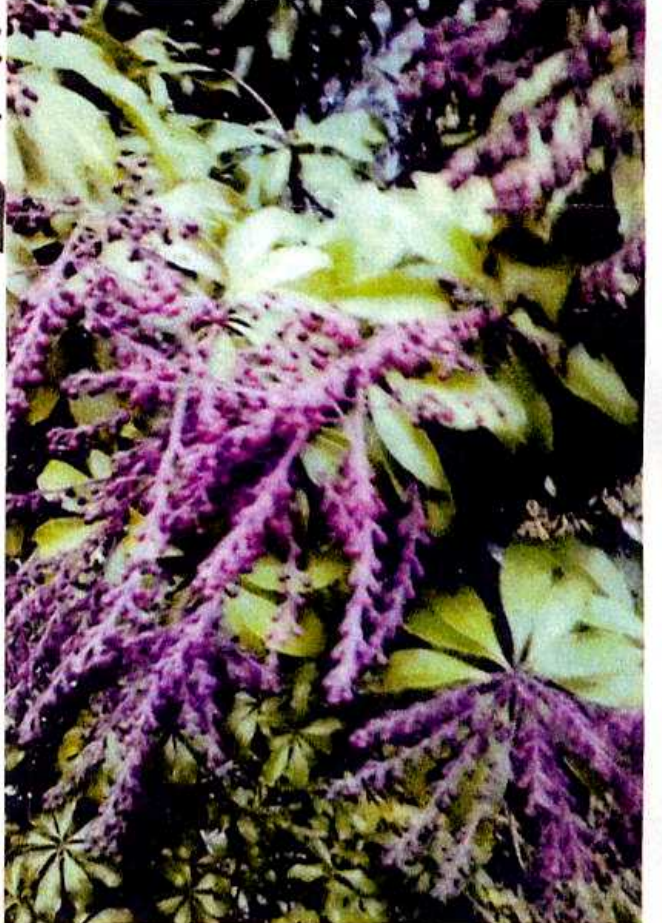
だからといって、勝手に道を作つていいのではありません。自分で歩きたいだけなら許せても、そのコースにテープでいっばいマーキングをして、ネットなどで紹介する事は、誰の許可を得てやるののでしょうか。

自然を愛し、山が好きなら、どのような行動はしてはいけないのかのモラルは必要です。

と、自分の土地に勝手に道をつくられたらどうでしょうか。山だから許されるのですか。

とさか、犬や動物のように、次々とマーキングするのはいけません。山を歩く愛好家のために、登山道以外の山を歩く愛好家の皆さん、あんなの山ごっこは、はいかですか。

## やるじやないか 東祖谷中学



### 税に関する作文コンクール 谷口直美さん 国税長官賞

東祖谷中三年

国税庁が公募した「税に関する作文コンクール」において、東祖谷中三年の谷口直美さんが、国税長官賞に選ばれました。

谷口さんは、昨年の全国納税野菊組合連合会長賞に続き、二年連続受賞するという快挙です。

谷口さんの作品は、おぼろげな治療費から、医療や福祉が税金を支えていることに気付いたという内容の「税でつながる心と社会」。

税金は正しく使われると、多くの人々が幸せに暮らせる。将来は多く人と綱め社会の支えになりたい。とつづけています。

とさか、田舎だからダメだ。祖谷では、なんでも音が少なくて、そんな事ではいけない、とを証明してくれました。大人の皆さん、何をしようとするか。励まされる受賞とも言えます。

続けていると、こんな嬉しい事もあるとのことです。

和歌山大学の六年生、田岡ゆうま君、ら「ばんごも新聞」が届くようになりました。

自分の地域の自然に目を向け、何をして、どうして、解説して、内容が、上の写真と田岡君から送られてきました。

「馬酔木(アセビ)アセビですが、花芽のアップです。花が咲けば目につきますが、冬の間は、時に、ひかひかの観察だとおもいます。おっと長く発行し続けてほしいのとかといま。

その他にも、東祖谷中三年生の活躍が、おげしくいまま。

新春徳島駅伝三好市の代表に前田君が、大人の井下さん、坂本さんと共に選ばれました。

三好市のスポーツ大会で、他入賞の高橋さん、などの成績がありました。

また、東祖谷中三年生が、大中学生の活躍を、徳島新聞に大きく載せていました。

レスリングで

谷口も、杉平も、優勝して、全日本ベスト4に入賞するほど、見事な活躍がありました。

こうして、子供達の活躍は、決して個人的なものだけではありません。

個人の努力、家族の応援、そして、育つていく地域の持つパワーが、結果として、このようになっています。

とさか、とさか、地域(東祖谷)の力を、結果として、明るい未来を作りたい、元気が、こぼれまわります。